

# OM SYSTEM

## RecMic Configuration Tool (RCT)

Reference Manual V2.00



|   |           |
|---|-----------|
| <b>1 GET STARTED</b> .....                          | <b>4</b>  |
| 1.1 Welcome to RecMic Configuration Tool.....       | 4         |
| 1.2 Supported devices .....                         | 5         |
| 1.3 起動と終了 .....                                     | 6         |
| 1.3.1 RecMic Configuration Tool を起動する .....         | 6         |
| 1.3.2 RecMic Configuration Tool を終了する .....         | 7         |
| 1.4 メニューコマンド .....                                  | 8         |
| <b>2 DEVICE CONFIGURATION</b> .....                 | <b>9</b>  |
| 2.1 Microphone .....                                | 10        |
| 2.2 Pointing device .....                           | 12        |
| 2.3 Button.....                                     | 14        |
| 2.3.1 Olympus mode のボタンをカスタマイズする.....               | 15        |
| 2.3.2 Custom mode のボタンをカスタマイズする.....                | 16        |
| 2.3.3 Keyboard Configuration ダイアログボックス .....        | 17        |
| 2.4 Advanced.....                                   | 19        |
| 2.5 Firmware .....                                  | 21        |
| 2.5.1 手動ファームウェアアップデート .....                         | 21        |
| <b>3 APPLICATION CONTROL</b> .....                  | <b>22</b> |
| 3.1 テンプレート.....                                     | 23        |
| 3.2 テンプレートを構成する.....                                | 24        |
| 3.3 Application Control Properties dialog box ..... | 26        |
| 3.4 Edit Command dialog box.....                    | 27        |
| <b>4 ADMINISTRATIVE FEATURES</b> .....              | <b>30</b> |
| 4.1 プロファイルをエクスポート／インポートする.....                      | 31        |
| 4.2 Write mode .....                                | 32        |
| <b>5 APPENDIX</b> .....                             | <b>33</b> |
| 5.1 画面の各部の名称.....                                   | 33        |
| 5.2 サポートするマルチメディアキー .....                           | 36        |

Change History

|         |           |               |
|---------|-----------|---------------|
| Ver2.00 | 2026.01.1 | First Edition |
|         |           |               |

# 1 Get started

このセクションには次のトピックが含まれます。

- [Welcome to RecMic Configuration Tool](#)
- [サポートデバイス](#)
- [起動と終了](#)
- [メニューコマンド](#)

## 1.1 Welcome to RecMic Configuration Tool

RecMic Configuration Tool は、OM RecMic を使ってデスクトップアプリケーションを制御するワークフローをサポートするソフトウェアです。このソフトウェアでは、RecMic の設定や、RecMic のボタンにアプリケーションを制御する機能を割り当てることができます。

RecMic Configuration Tool を使用するには、まず RecMic をコンピューターに接続します。

接続したデバイスの設定を行うには、「デバイス設定」タブをクリックします。このタブでは、マイク、マウス、ボタンの各種設定を行うことができます。

RecMic を使って他のアプリケーションを制御するための設定を行うには、「アプリケーション制御」タブをクリックします。このタブでは、特定のアプリケーションの起動、キーボードショートカットやテキストの送信など、各ボタンに様々な機能を割り当てることができます。



RecMic Configuration Tool は、仮想化環境をサポートしていません。

## 1.2 Supported devices

RecMic Configuration Tool は以下のデバイスをサポートしています:

### **RecMic (RM シリーズ)**

- RM-4010N

## 1.3 起動と終了


このセクションには次のトピックが含まれます。

- [RecMic Configuration Tool を起動する](#)
- [RecMic Configuration Tool を終了する](#)

### 1.3.1 RecMic Configuration Tool を起動する

---

**RecMic Configuration Tool** を起動するには



- デスクトップ上の  アイコンをダブルクリックします。  
または
- [スタート] メニューの [OM RecMic Configuration Tool] をクリックします。

#### 自動起動

---

RecMic Configuration Tool は、Windows ログオン時に自動で起動することができます。この時、RecMic Configuration Tool はメインウィンドウを表示せずに、通知領域にアイコンを表示します。


メインウィンドウを開くには

- 通知領域の  アイコンをダブルクリックします。  
または
- 通知領域の  アイコンを右クリックして、ショートカットメニューの [Open RecMic Configuration Tool] をクリックします。

## 1.3.2 RecMic Configuration Tool を終了する

---

RecMic Configuration Tool を終了するには、以下の手順を実行します：

- メインウィンドウから
  - [Application] メニューの [Exit application] をクリックします。
  
- 通知領域アイコンから
  - 通知領域の  アイコンを右クリックして、ショートカットメニューの [Exit] をクリックします。



タイトルバーの **Close** ボタン  をクリックしても、RecMic Configuration Tool は終了しません。

RecMic Configuration Tool は通知領域にアイコンを表示して、バックグラウンドで動作し続けます。

## 1.4 メニューコマンド

この節では RecMic Configuration Tool のメニューコマンドについて説明します。

### Application Menu

| Command Name     | Function   |
|------------------|--|
| Import profile   | 別の RecMic Configuration Tool でエクスポートしたプロファイルをインポートして、構成を復元します。                         |
| Export profile   | 現在の構成をプロファイルとしてファイルに保存します。デバイスコンフィグレーションおよびアプリケーションコントロールコンフィグレーションのいずれか、または両方を保存できます。 |
| Select language  | 表示言語を切り替えます。変更を有効にするには、再起動が必要です。   |
| Close window     | メインウィンドウを通知領域に最小化します。このとき、RecMic Configuration Tool はバックグラウンドで動作し続けます。                 |
| Exit application | RecMic Configuration Tool を終了します。  |

### Device Menu

| Command Name       | Function                           |
|--------------------|------------------------------------|
| Device information | アクティブなデバイスの情報を表示します。               |
| Device selection   | 複数のデバイスを接続しているとき、アクティブなデバイスを選択します。 |

### Help Menu

| Command Name                    | Function                                      |
|---------------------------------|---|
| RecMic Configuration Tool ヘルプ   | RecMic Configuration Tool のオンラインヘルプ（英語）を開きます。 |
| About RecMic Configuration Tool | バージョン情報を表示します。                                |

## 2 Device configuration

[Device configuration] タブでは、アクティブなデバイスのマイクフォン、マウス、ボタンなどの様々な設定を構成できます。

RecMic 設定ツールを起動すると、接続されたデバイスの現在の設定が自動的にダウンロードされます。画面には、接続されたデバイスで使用できるオプションのみが表示されます。変更した設定をデバイスにアップロードすることで、デバイスの動作を好みに合わせてカスタマイズできます。

アクティブなデバイスに設定をアップロードするには

1. メインウィンドウを開き、[Device configuration] タブをクリックします。
2. ウィンドウ左側のカテゴリ ペインの、カスタマイズしたいカテゴリをクリックします。
3. 開いたページのオプションを、必要に応じて変更します。
4. [Device] ツールバーの [Upload] をクリックします。

以下のカテゴリが利用可能です:

- [Microphone](#)
- [Pointing device](#)
- [Button](#)
- [Advanced](#)
- [Firmware](#)

## 2.1 Microphone

RecMic のマイクをカスタマイズするために、[Microphone] ページを使用します。

### Recording scene mode

#### Current settings

あなたの環境に合う録音シーンモードを使用するために、このリストから一つのアイテムを選択します。各録音シーンモードが制御する指向性やノイズリダクションレベルが表示されます。

- ・ Quiet environment :

静かな環境で録音する場合に使用します。指向性制御は Wide、ノイズサプレッションは Low に設定されます。

- ・ Noisy environment for speech recognition :

周辺ノイズが多い環境で音声認識を利用する場合に使用します。指向性制御は Narrow、ノイズサプレッションは強めに働きます。

- ・ Noisy environment for classic dictation :

周辺ノイズが多い環境で通常のディクテーションを行う場合に使用します。指向性制御は Narrow、ノイズサプレッションは最強で動作します。



**Directionality、Noise cancellation、Automatic Gain Control** オプションは変更できません。

### Motion control

#### Enable automatic mute mode

モーションセンサーによる自動ミュート機能を使用するために、このチェックボックスを選択します。  
このオプションが有効な場合、RecMic を机に置いている間、自動的にマイクをミュートします。

#### Enable hands-free recording mode

ハンズフリー録音モードを使用するために、このチェックボックスを選択します。  
このオプションが有効な場合、RecMic をスタンドに置いている間、ハンズフリー録音モードに自動で変更します。



RecMic の状態は画面右下の“Motion event”で確認できます。



## 2.2 Pointing device

マウスボタンをカスタマイズするために、[Pointing device] ページを使用します。



Track ball に関するオプションは、RM-4010N ではサポートしていません。

### Mouse buttons

#### Right handed style

選択やドラッグなどの主な機能に左マウスボタンを使用するために、このボタンをクリックします。

#### Left handed style

選択やドラッグなどの主な機能に右マウスボタンを使用するために、このボタンをクリックします。

#### Disabled

左マウスボタンと右マウスボタンを利用できないようにするために、このボタンをクリックします。

#### Customize

左マウスボタンと右マウスボタンを **Button** ページでカスタマイズするために、このボタンをクリックします。

### ClickLock

#### Enable ClickLock

マウスボタンを押し続けることなくドラッグするために、このチェックボックスを選択します。

#### Duration

所要時間を 0.1 秒から 5 秒で入力または選択します。これは、マウスボタンを押してからクリックがロックされるまでの時間です。

### Trackball

RM-4010N ではサポートしていません。

## Scroll functions

---

### Enable scroll functions on function buttons

ファンクションボタンを使用してスクロール操作するために、このチェックボックスを選択します。

このオプションが有効な場合、RecMic のファンクションボタンは、マウスのスクロールホイールに置き換えられます。上にスクロールするには F1 を押し、下にスクロールするには F2 を押し、連続スクロールするには F3 を押し

ます。

## 2.3 Button

RecMic のボタンをカスタマイズするために、[Button] ページを使用します。

### Preset button mode

RecMic デバイスは、用途に応じて構成されたプリセットボタンモードが付属しています。

モードを変更するために、このリストから以下のいずれかのオプションを選択します：

| Preset button mode              | Description  |
|---------------------------------|--|
| Olympus mode                    | OM System が提供する Audio SDK のインテグレーションが必要です  |
| Custom mode                     | このモードは、キーボードショートカットでアプリケーションを制御するために使用されます。このモードでは、各ボタンのキーボードショートカットをカスタマイズできます。 |
| Dragon speech recognition mode  | このモードは Nuance 社の Dragon ソフトウェアに最適化されています。このモードでは各ボタンをカスタマイズすることはできません。           |
| Windows speech recognition mode | このモードは Windows 音声認識に最適化されています。このモードでは各ボタンをカスタマイズすることはできません。                      |

### Olympus mode

オリンパスモードは、OM System が提供する Audio SDK をインテグレーションしたアプリケーションでのみ機能します。Audio SDK に関するお問い合わせは、弊社営業担当にご相談ください。

### Custom/Dragon/Windows speech recognition mode

これらのモードでは、RecMic はコンピューター システムに直接キーボードショートカットを送信します。アプリケーションを制御するために、RecMic Configuration Tool をバックグラウンドで動作させる必要はありません。

### 機能設定リスト

機能設定リストでは、[Button] 列は RecMic の実際のボタンを表し、[Function] 列はボタンに割り当てられた機能を表します。

プリセットボタンモードによって、各ボタンをカスタマイズする方法は異なります。



- オリンパスモードの各ボタンをカスタマイズする方法は、“[Olympus mode のボタンをカスタマイズする](#)”を参照してください。
- カスタムモードの各ボタンをカスタマイズする方法は、“[Custom mode のボタンをカスタマイズする](#)”を参照してください。

## 2.3.1 Olympus mode のボタンをカスタマイズする

---

Olympus mode のボタンをカスタマイズするには

1. [Device configuration] タブのカテゴリ ペイン上で、[Button] をクリックします。
2. [Preset button mode] リスト内で、[Olympus mode] をクリックします。
3. 機能設定リスト内で、[Function] 列から変更するボタンのアイテムをクリックします。
4. ドロップダウンリスト内で、ボタンに関連付ける機能を選択します。

ボタンに割り当てることができる機能は、モデルによって異なります。

各モデルで利用可能な機能は以下の通りです：

| Function            | RM-4010N |
|---------------------|----------|
| New                 | ✓        |
| Insert/Overwrite    | ✓        |
| Record              | ✓        |
| Stop                |          |
| Play                | ✓        |
| Review              |          |
| Index               | ✓        |
| Rewind              | ✓        |
| Fast forward        | ✓        |
| Volume down         | ✓        |
| Volume up           | ✓        |
| Left mouse button   | ✓        |
| Right mouse button  | ✓        |
| Scroll wheel button | ✓        |
| F1                  | ✓        |
| F2                  | ✓        |
| F3                  | ✓        |
| F4                  | ✓        |
| Fa                  |          |
| Fb                  |          |
| Fc                  |          |
| Back                | ✓        |
| Mute                | ✓        |
| Scroll up           | ✓        |
| Scroll down         | ✓        |
| Disable             | ✓        |




- Mute

RecMic のマイクをオフにします。マイクがオフになっている間、RecMic の LED が青色で点滅します。

## 2.3.2 Custom mode のボタンをカスタマイズする

---

Custom mode のボタンをカスタマイズするには

1. [Device configuration] タブのカテゴリ ペイン上で [Button] をクリックします。
2. [Preset button mode] リスト内で、[Custom mode] をクリックします。
3. ボタンリスト内で、[Function] 列から変更するボタンのアイテムをクリックします。
4. [Browse] ボタン  をクリックします。
5. [\[Keyboard Configuration\] ダイアログボックス](#)で、ボタンに割り当てる機能を設定します。

## 2.3.3 Keyboard Configuration ダイアログボックス

---

RecMic のボタンにキーボード機能を割り当てるために、[Keyboard Configuration] ダイアログボックスを使用します。

ボタンに割り当てる機能を設定するには

1. 設定したい操作タイプを選択します。
2. [Next] をクリックします。
3. [Button] カラムから変更するボタンを選びます。
4. あなたの変更を保存するために、[Finish] をクリックします。

以下の操作タイプが利用可能です:

- [Keyboard shortcut](#)
- [Multimedia key](#)
- [Microphone switch](#)
- [Mouse function](#)
- [No operation](#)

### Keyboard shortcut

---

キーボードショートカットを送信します。

キーボード上で送信したいキーの組み合わせを押します。既に指定されたキーを削除するためには、[Clear] ボタンをクリックします。

#### Advanced setting

キーボードショートカットを送信する振る舞いを変更するために、このチェックボックスを選択します。このオプションが有効な場合、RecMic はボタンを押した時と離れた時にキーボードショートカットを送信します。

### Multimedia key

---

マルチメディアキーを送信します。

このリストから一つのマルチメディアキーを選択します。

#### Advanced setting

マルチメディアキーを送信する振る舞いを変更するために、このチェックボックスを選択します。このオプションが

有効な場合、RecMic はボタンを押した時と離れた時にマルチメディアキーを送信します。



利用可能な マルチメディアキーについては、「サポートするマルチメディアキー」を参照してください。

## Microphone switch

RecMic のマイクを制御します。

選択されたボタンがプッシュボタンの場合、以下のオプションが利用可能です：

| Option                   | Description                                       |
|--------------------------|---|
| Toggle microphone on/off | ボタンを押すたびに、RecMic のマイクをオンまたはオフにします。                |
| Push to talk             | ボタンを押し続けている間は RecMic のマイクをオンにし、ボタンを離すとマイクをオフにします。 |

## Mouse function

選択されたボタンにマウスボタンを割り当てます。

以下のオプションが利用可能です：

| Option              | Description            |
|---------------------|------------------------|
| Left mouse button   | マウスのメインボタンをクリックします。    |
| Right mouse button  | マウスのセカンダリーボタンをクリックします。 |
| Scroll wheel button | マウスのスクロールホイールをクリックします。 |
| Scroll up           | 上にスクロールします。            |
| Scroll down         | 下にスクロールします。            |

## No operation

選択されたボタンを利用できないようにします。

## 2.4 Advanced

ビープ音、パワーモードなどの拡張設定をカスタマイズするために、[Advanced] ページを使用します。

### User ID

ユーザー ID を 16 文字以内で入力します。大文字、数字、アンダースコアのみ使用できます。

### Button click

#### Enable button click suppression

録音中のボタンクリック音を抑制するために、このチェックボックスを選択します。

### Beep sound

#### Enable beep sound

ビープ音を使用するために、このチェックボックスを選択します。

#### Volume

ビープ音量を調整するために、このスライダーを移動します。

### Power mode

#### Standard power mode

USB パワーモードを標準パワーモードに切り替えるために、このボタンをクリックします。

#### Low power mode

USB パワーモードをローパワーモードに切り替えるために、このボタンをクリックします。



ローパワーモードでは、再生音量が下がり、LED が暗くなります。

## Volume control

---

RM-4010N ではサポートしていません。

## 2.5 Firmware

アクティブなデバイスのファームウェアを更新するために、[Firmware] ページを使用します。

デバイスのファームウェアを更新するには、以下の方法があります：

[手動ファームウェアアップデート](#)

### 2.5.1 手動ファームウェアアップデート

---

あなたのコンピューターがインターネットに接続できない場合、デバイスのファームウェアを手動でアップデートすることができます。

最初に、購入元の販売業者または管理者から提供されるアップデートファイルの保存場所を確かめてください。



- ファームウェアの更新を実行する前に、デバイスが録音、再生していないことを確認します。
- ファームウェアの更新中は、更新処理が完了するまではデバイスを切断しないでください。

アクティブなデバイスのファームウェアをアップデートするには

1. [Firmware] ページで、[Import] をクリックします。
2. [Open File] ダイアログボックスで、インポートするアップデートファイルを選択して、[Open] をクリックします。
3. ファームウェアアップデートを実行するために、[Update] をクリックします。
4. アップデート確認メッセージで、[Update firmware] をクリックします。
  - ファームウェアのアップデートが開始されるので、進捗状況ダイアログボックスが閉じるまで待ちます。デバイスが自動的に再接続されて、使用可能な状態になります。

# 3 Application control

[Application control] タブでは、RecMic で異なるアプリケーション（例えば、Dragon 音声認識ソフトウェアや Microsoft Office）を制御する設定を構成できます。アプリケーションコントロール機能を使用することで、RecMic のボタンをクリックするだけで、複雑な作業が素早く簡単に実行できます。

This chapter includes the following topics:

- [テンプレート](#)
- [テンプレートを構成する](#)
- [Application Control Properties dialog box](#)
- [Edit Command dialog box](#)

## 3.1 テンプレート

RecMic を使用してアプリケーションを制御するための構成をテンプレートと呼びます。テンプレートは、RecMic のボタンを押した時に実行されるコマンドの集まりで、アプリケーション毎に作成することができます。あるアプリケーションのテンプレートを作成すると、そのアプリケーションがアクティブな間、RecMic Configuration Tool はそのテンプレートに登録されたコマンドを実行します。

### Default – all other applications

これは、RecMic Configuration Tool が既定で提供する特別なテンプレートです。アクティブなアプリケーションのテンプレートが作成されていない場合、またはいずれのアプリケーションもアクティブでない場合に、このテンプレートが適用されます。既定では、RecMic で Dragon 音声認識ソフトウェアを制御するようにセットアップされています。





Dragon コマンドを実行するためには、Dragon ソフトウェアを起動して、あなたのユーザープロファイルを開く必要があります。

## 3.2 テンプレートを構成する

新しいテンプレートを登録するには

1. テンプレートを登録したいアプリケーションを起動します。
2. RecMic Configuration Tool のメインウィンドウを開き、[Application control] タブをクリックします。
3. [Application control] ツールバーの、[Add] をクリックします。
4. [Select Target Application] ダイアログボックスの、起動アプリケーションのリストの中から、対象のアプリケーションを選択します。
5. [OK] をクリックします。

テンプレートを編集するには

1. [Template] リストの、ドロップダウンアロー  をクリックします。
2. リストの中から、設定したいテンプレートをダブルクリックします。
3. コマンド設定リスト内で、[Command] 列から変更するボタンのアイテムをクリックします。
4. [Browse] ボタン  をクリックします。
5. [Edit Command] ダイアログボックスで、コマンドを追加または編集して、[OK] をクリックします。



[Edit Command] ダイアログボックスについては、“*Edit Command dialog box*” を参照してください。

## コマンド設定リスト

---

コマンド設定リストでは、[Button] 列は RecMic の実際のボタンを表します。“Shift + NEW” のようなアイテムは、キーボード上の Shift キーと RecMic の NEW ボタンを組み合わせることを意味します。

[Command] 列はボタンに割り当てられたコマンドを表します。

[Device configuration] タブで以下の機能が割り当てられたボタンは、コマンド設定リストに表示されません。



- Volume down
- Volume up
- Left mouse button
- Right mouse button
- Scroll wheel button
- Mute
- Scroll down
- Scroll up
- Disable

## 3.3 Application Control Properties dialog box

アプリケーションコントロール機能の拡張設定を変更するために、[Application Control Properties] ダイアログボックスを使用します。

[Application Control Properties] ダイアログボックスを開くには

1. メインウィンドウを開き、[Application control] タブをクリックします。
2. [Application control] ツールバーの [Properties] をクリックします。
3. [Application Control Properties] ダイアログボックスで、必要に応じてオプションを変更します。
4. [OK] をクリックします。

### Application control

#### Enable application control

アプリケーションコントロール機能を使用するために、このチェックボックスを選択します。このオプションが有効な場合、あなたは RecMic で様々なアプリケーションを制御することができます。



通知領域アイコンを右クリックして表示される、ショートカットメニューからもこのオプションを変更できます。

### Application selection

新しいテンプレートを作成するときに、対象アプリケーションを選択する方法を指定できます。

#### Select the executable file manually

対象アプリケーションの実行可能ファイルを手動で選択するために、このボタンをクリックします。

#### Select from the list running applications

起動中アプリケーションのリストから対象アプリケーションを選択するために、このボタンをクリックします。

## 3.4 Edit Command dialog box

RecMic の各ボタンにアプリケーションを制御するコマンドを割り当てるために、[Edit Command] ダイアログボックスを使用します。

### Name

コマンドの名前を入力します。 This is optional.

### Operation steps

コマンドを構成する操作手順を表示します。操作は、リストの上から順を追って実行されます。

新しい操作を追加するには、[Operation type] リストから操作タイプを選択して、Add ボタンをクリックします。

### Operation type

コマンドに追加する操作のタイプを選択します。以下のオプションが利用可能です:

- [Dragon command](#)
- [Keyboard shortcut](#)
- [Start application](#)
- [Text](#)
- [Wait](#)

### OK

コマンドを保存するために、このボタンをクリックします。

### Cancel

変更を保存せずに [Edit Command] ダイアログボックス を閉じるために、このボタンをクリックします。

## Dragon command

Dragon ソフトウェアを制御するコマンドを実行します。

### Group

このリストから一つのグループを選択します。

### Dragon command

選択したグループに応じて、このリストから一つの Dragon コマンドを選択します。

### User command

**Group** リストで **User command** を選択した場合、Dragon ソフトウェアで作成したあなた自身のカスタムコマンドの名前を入力します。



利用可能な Dragon コマンドについては、“サポートする Dragon コマンド”を参照してください。

## Keyboard shortcut


指定したキーボードショートカットをアクティブなアプリケーションに送信します。

キーボード上で送信したいキーの組み合わせを押します。既に指定されたキーを削除するためには、[Clear] ボタンをクリックします。

## Start application

指定したアプリケーションを起動します。

### Executable

[Browse] ボタン  をクリックして、対象アプリケーションの実行可能ファイル (.exe) を選択します。Microsoft Word ファイル (.docx) などのドキュメントを指定することもできます。このとき、そのファイルに関連付けられたアプリケーションを起動して、ファイルを開きます。

### Command line parameters

対象アプリケーションが必要とする、コマンドラインパラメーターを入力します。

### Start mode

アプリケーションを開始するウィンドウモードを選択します。

### Pause application control when the application is running

アプリケーションコントロール機能を一時停止するために、このチェックボックスを選択します。



このオプションが有効な場合、指定したアプリケーションが起動している間は、RecMic Configuration Tool は他のアプリケーションにコマンドを送信しません。RecMic と連携するソフトウェアインテグレーターソフトウェア、または OM ソフトウェアを使用する場合に、このオプションが役に立ちます。

## Text

指定したテキストをアクティブなアプリケーションに挿入します。

### Text

挿入するテキストを、このボックスに入力します。複数行のテキストを指定することができます。

## Wait

---

指定した時間だけコマンドの実行を中断します。例えば、アプリケーションが開くのを待つ、という場合にこのコマンドが役に立ちます。

次のコマンドを実行するまでの待機時間を 1 秒から 999 秒で入力または選択します。

### Show time remaining

待機中の残り時間を表示するために、このチェックボックスを選択します。

# 4 Administrative features

This chapter includes the following topics:

- [プロフィールをエクスポート/インポートする](#)
- [Write mode](#)

## 4.1 プロファイルをエクスポート／インポートする

デバイス構成とアプリケーションコントロール構成は、ユーザープロフィールとしてファイルに保存できます。これらファイルをインポートすることで、他のコンピューターでこれらの構成を復元できます。

プロフィールをエクスポートするには

1. メインウィンドウを開きます。
2. [Application] メニューで、 [Export profile] をクリックします。
3. エクスポートしたい設定を選択して、 [OK] をクリックします。
4. [Export Profile] ダイアログボックスで、プロフィールを保存するフォルダを選択します。
5. [File name] ボックスに、ファイル名を入力して、 [Save] をクリックします。



[Device configuration] タブで設定を変更した場合、プロフィールをエクスポートする前に、アクティブなデバイスへ設定をアップロードする必要があります。そうしないと、プロフィールに設定の変更が反映されません。

プロフィールをインポートするには

1. メインウィンドウを開きます。
2. [Application] メニューで、 [Import profile] をクリックします。
3. [Import Profile] ダイアログボックスで、インポートしたいプロフィールを選択して、 [Open] をクリックします。
  - インポートされるプロフィールに現在の構成と競合するテンプレートが含まれる場合、確認メッセージが表示されます。この確認メッセージで、そのテンプレートを上書きするかどうか選択します。

## 4.2 Write mode

書き込みモードでは、複数の RecMic デバイスを連続して設定できます。



このモードでは画面上のオプションを変更できません。事前に通常モードでデバイスの設定を行い、プロファイルをエクスポートしてください。

**RecMic Configuration Tool** を書き込みモードで起動するには

1. お使いのコンピューター上の RecMicConfigurationTool.exe ファイルの場所を確認します。RecMic Configuration Tool のインストール時にデフォルトのフォルダの場所を使用した場合、RecMicConfigurationTool.exe ファイルは以下の場所にあります。
  - For 64-bit Windows: C:\Program Files (x86)\OLYMPUS\RecMicConfigurationTool
  - For 32-bit Windows: C:\Program Files\OLYMPUS\RecMicConfigurationTool
2. [スタート] をクリックします。Windows ロゴキーを押すこともできます。
3. [検索の開始] ボックスに「cmd」と入力し、Enter キーを押します。
4. コマンドプロンプトで引用符を入力し、RecMicConfigurationTool.exe ファイルのフルパスを入力してから、もう一度引用符を入力します。
5. 引用符の後にスペースを入力し、/s と入力します。例えば、次のように入力します。
  - 例えば、次のように入力します。

```
"C:\Program Files\OLYMPUS\RecMicConfigurationTool\RecMicConfigurationTool.exe" /s
```

6. Enter キーを押します。

書き込みモードでデバイスに設定をアップロードするには

1. アプリケーションメニューで、「プロファイルのインポート」をクリックします。
2. 「Import Profile」ダイアログボックスで、インポートするプロファイルファイルを選択し、「Open」をクリックします。
3. RecMic をコンピューターに接続します。
  - 設定は自動的にデバイスにアップロードされます。アップロードが完了すると、完了メッセージが表示されます
4. RecMic を取り外し、次の RecMic を接続します。

# 5 Appendix

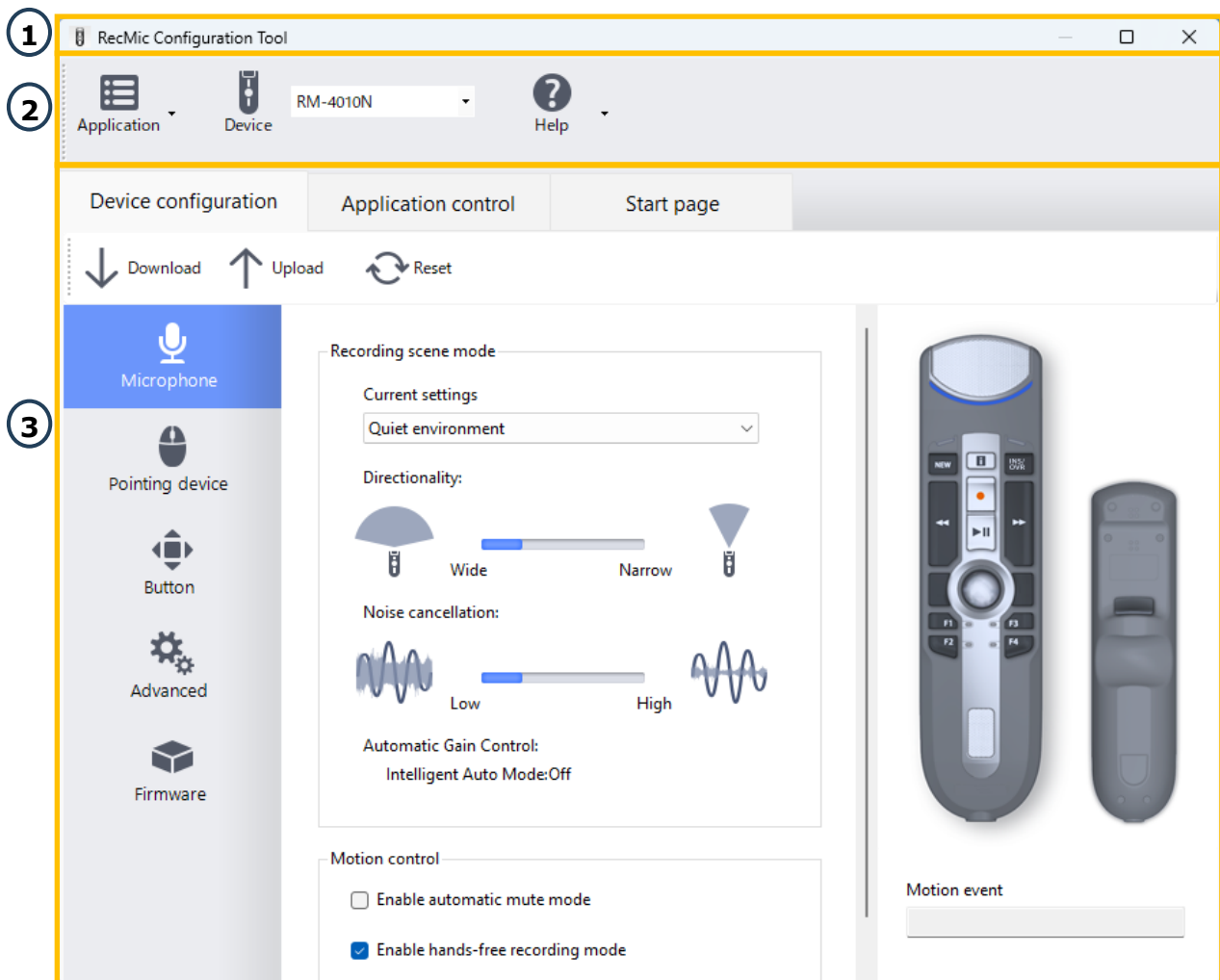
This chapter includes the following topics:

- [画面の各部の名称](#)
- [サポートするマルチメディアキー](#)

## 5.1 画面の各部の名称

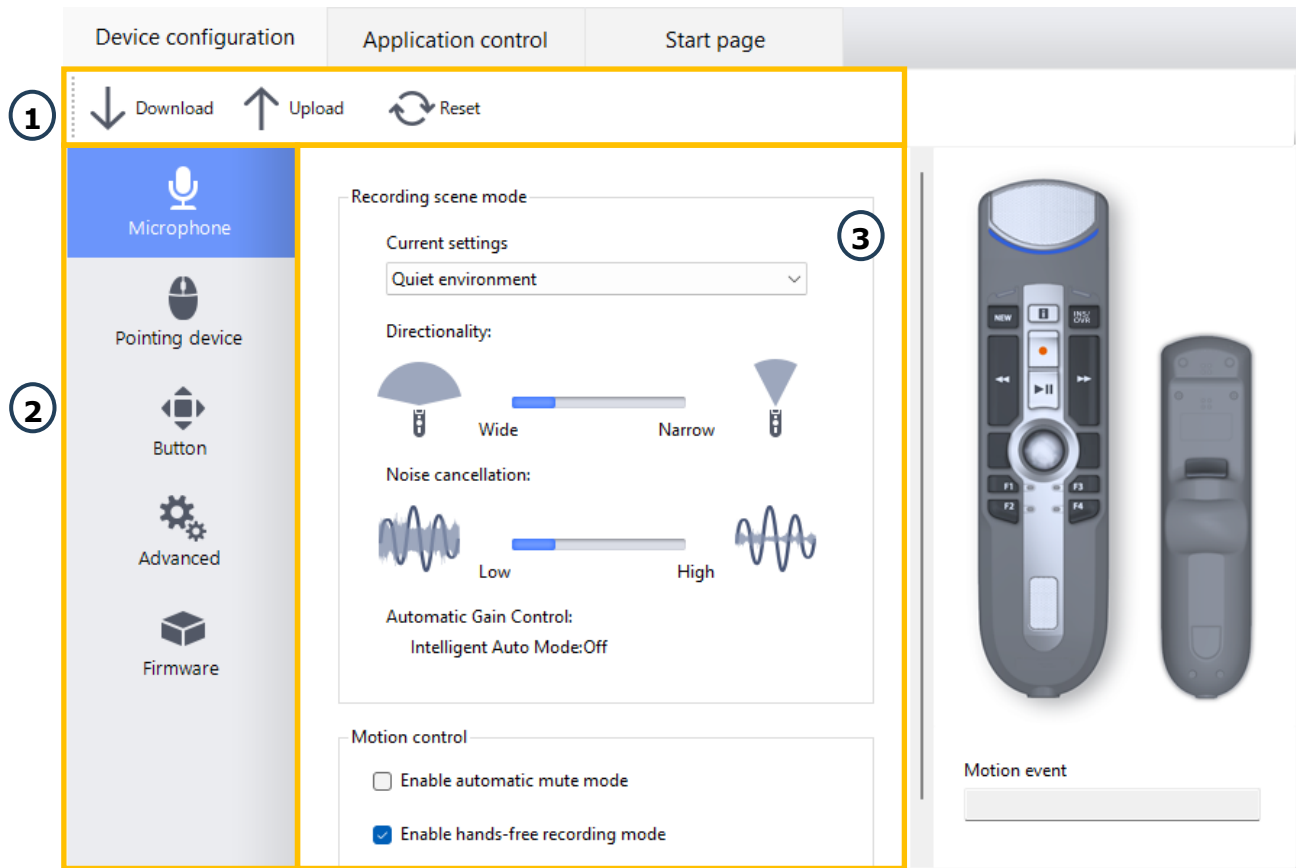
- [メインウィンドウ](#)
- [デバイスタブ](#)
- [アプリケーションコントロールタブ](#)

### メインウィンドウ



- ① Title bar
- ② Toolbar
- ③ Tabs

## デバイスタブ



- ① Device toolbar
- ② Category pane
- ③ Configuration page

## アプリケーションコントロールタブ

① Add Delete Properties

② Template (Default - all other applications)

| Button      | Command                  |
|-------------|--------------------------|
| NEW         | Tab backward             |
| INSERT/OVER | Tab forward              |
| REC         | Microphone on/off        |
| PLAY        | Clear field delimiters   |
| Index       | Show Dictation Box       |
| REW         | Previous field           |
| FF          | Next field               |
| F1          | Switch to Command Mode   |
| F2          | Transfer text            |
| F3          | Switch to Dictation Mode |
| F4          | Show Dictation Box       |
| Shift +NEW  |                          |

| Motion    | Command |
|-----------|---------|
| Laid down |         |
| Picked up |         |

Motion event

① Application control toolbar

② Template list

③ コマンド設定リスト

## 5.2 サポートするマルチメディアキー

[Keyboard Configuration ダイアログ] で操作タイプに [Multimedia key] を選択した場合、以下のオプションが利用可能です:

| Option            | Description                   |
|-------------------|-------------------------------|
| Next track        | 次のトラックを選択します。                 |
| Previous track    | 前のトラックを選択します。                 |
| Stop media        | メディアの再生を停止します。                |
| Play/Pause        | 再生/一時停止が切り替わります。              |
| Volume mute       | Mutes the speaker volume.     |
| Volume up         | Increases the speaker volume. |
| Volume down       | Decreases the speaker volume. |
| Media player      | 既定の音楽プレーヤーを開始します。             |
| Start mail        | 既定の E メールアプリケーションを開始します。      |
| Calculator        | Starts Windows Calculator.    |
| My Computer       | File Explorer を開始します。         |
| Browser home      | 既定の Web ブラウザを開始します。           |
| Browser back      | Goes back one page.           |
| Browser forward   | Goes forward one page.        |
| Browser stop      | Stops loading this page.      |
| Browser refresh   | Refreshes the current page.   |
| Browser favorites | ブラウザのお気に入りを開きます。              |